

実践団体情報

記入日	2019年1月16日（2018年度のチャレンジプラン）
実践団体名	大田区立南六郷中学校
代表者名	藤原 啓芳
プラン全体のタイトル	ESDまちプロジェクト防災応援隊 ～学校防災活動拠点事業～
電話番号	03-3732-9351
メールアドレス	minamirokugou-js1@ota-school.ed.jp
実践団体の説明	創立56年となる大田区立中学校で、大田区立中学校28校中、最も生徒数の多い学校である。また、大田区最南にあり神奈川県川崎市と隣接し、多摩川河口付近に位置する。
所属メンバー	（代表）校長：藤原 啓芳
活動地域	大田区立南六郷中学校区内 （大田区南六郷2丁目町会及び南六郷2丁目団地自治会）
活動開始時期・結成時期	2017年
過去の活動履歴・受賞歴	2017年 防災教育チャレンジプラン実践団体

プラン全体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・全校集会や学校だより等を活用した「南六郷中レンジャー隊」の募集。 ・上級救命講習受講やD級ポンプ消火訓練参加による南六郷中レンジャー隊のスキルアップ。 ・南六郷中レンジャー隊と地域町会、自治会による風水害時のハザードマップ作成及び地域防災訓練への参加と防災フェスタ参加呼びかけ。 ・水害を想定した防災フェスタの実施。
----------	--

② ESD まちプロジェクト防災応援隊 ～ 学校防災活動拠点事業（大田区立南六郷中学校）～

プランの年間活動記録

	プランの立案と調整	活動準備	実践活動
4月			
5月	防災フェスタプラン立案		
6月	フェスタ準備日程調整		防災ボランティア隊募集
7月		防災ボランティア隊結成	
8月		防災フェスタ準備会	水害ハザードマップ作成
9月		防災フェスタ準備会	上級救命講習資格取得
10月		D級ポンプ操作練習	各町会・自治会防災訓練参加
11月		防災フェスタ準備会	区自治体消火訓練参加
12月			防災フェスタ実施
1月			
2月			
3月			

プラン全体の反省点・課題・感想	<ul style="list-style-type: none"> ・防災フェスタの中堅世代（30～40代）参加について、前年より参加数が増えたが、まだまだ地域防災活動は高齢者の方々に頼ることが多い現状である。 ・南六郷中レンジャー隊の防災スキルを高めるための訓練機器の経費確保や、防災訓練参加（土・日曜日）のための生徒引率等の人的手当が課題である。
今後の活動予定	<ul style="list-style-type: none"> ・南六郷中レンジャー隊の活動について、来年度は今年4月当初から組織的に生徒の募集を行い、中学生防災リーダーの育成を図りたい。 ・中堅世代の防災訓練参加には、地域との連携だけでなく、PTAを核とした保護者と計画的に協議を進めていく必要性を感じた。また、風水害を想定した訓練では、地震想定とは違う新たな課題も明らかになった。引き続き、課題を改善しながら防災訓練を継続したい。

実践したプランの内容と成果

記入日	2019年1月16日（2018年度のチャレンジプラン）
実践団体名	大田区立南六郷中学校
実践番号	1
タイトル	ESDまちプロジェクト防災応援隊 ～学校防災活動拠点事業～
実践担当者のお名前	藤原 啓芳

実践にかかった金額	3万円未満
実践の準備にかかった時間	数ヶ月
実践活動を実施した日時	2018年6月1日 ～ 2018年12月1日
実践の所要時間	33時間 (8時間×1日、2時間×6日、3時間×3日、4時間×1日)
実践の運営側で動いた人の人数	30人
防災教育の対象者の属性	幼児/保育園児/幼稚園児・小学生(低学年)・小学生(高学年)・ 中学生・高校生・大学生・教職員・保護者/PTA・地域住民・ 防災関係者
防災教育の対象者の人数	約600人
実践を行った都道府県と市区町村	東京都大田区
実践を行った具体的な場所	大田区立南六郷中学校 教室・体育館
★実践に必要なだった特定の能力を 持った人・物品・ツール・知識等	風水害を想定した学校区内のハザードマップ

達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・地域防災の担い手となる中学生防災リーダーの育成。 ・水害を想定した防災訓練実施による課題探求。 ・地域の力となる中堅世代が主体的に取り組む防災訓練。 	
どの力を身につけよ うとしましたか？	知識・技能	かなり
	思考力・判断力・表現力	かなり
	学びに向かう力・人間性	かなり

② ESD まちプロジェクト防災応援隊 ～ 学校防災活動拠点事業（大田区立南六郷中学校）～

実践内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水害を想定した学校防災拠点事業（防災フェスタ）立案 <li style="text-align: center;">↓ ・ 全校集会、学校だより等による中学生防災ボランティア募集呼びかけ ・ 中学生防災ボランティアと地域町会等による水害ハザードマップ作成 ・ 中学生ボランティア上級救命講習取得、D級ポンプ消火訓練練習 ・ 中学生ボランティアの各町会・自治会・自治体主催防災訓練参加と防災フェスタ参加の呼びかけ（特に中堅世代へアピール） <li style="text-align: center;">↓ ・ 防災フェスタ実施及び実施後の課題検証 	
得られた成果	<p>中学生ボランティア隊が防災に対するスキルを高めることができたことで、隊員一人一人の自尊感情が育まれるとともに、その活躍によって全校生徒の防災に対する意識の高揚も見られた。</p>	
どのくらい身につきましたか？	知識・技能	かなり
	思考力・判断力・表現力	少し
	学びに向かう力・人間性	少し
課題・苦勞・工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・ 南六郷中レンジャー隊の防災スキルを高めるための訓練機器の経費確保や、防災訓練参加（土・日曜日）のための生徒引率等の人的手当が課題である。 ・ 中堅世代の防災訓練参加には、地域との連携だけでなく、PTAを核とした保護者と計画的に協議を進めていく必要性を感じた。 	

★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について	
関係者の名前・団体名	大田区南六郷2丁目町会
関係者の説明	風水害を想定した場合の地域の被害状況
関係者の連絡先	03-3736-4460
関係者の名前・団体名	大田区南六郷2丁目自治会
関係者の説明	風水害を想定した場合の地域の被害状況
関係者の連絡先	03-3733-2353
★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ	
伝えたい相手	近隣の高校・特別支援学校
伝えたい内容	本校と連携した防災訓練の実施について